

# 山形県立寒河江工業高等学校改築整備事業

## 事業者選定結果

令和2年9月

山形県

令和元年12月24日に入札公告を行った「山形県立寒河江工業高等学校改築整備事業」（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の選定結果を次のとおり公表する。

令和2年9月9日

山形県知事 吉村 美栄子

山形県立寒河江工業高等学校改築整備事業  
事業者選定結果  
目 次

第1 事業者選定の経緯等 .....	1
1 事業者選定の経緯 .....	1
2 事業者選定方式 .....	1
3 事業者の選定方法及び手順 .....	1
第2 事業者選定の体制等 .....	3
1 事業者選定の体制 .....	3
2 委員会 .....	3
第3 審査結果 .....	4
1 入札参加資格審査 .....	4
2 入札書類審査 .....	4
(1) 開札 .....	4
(2) 基礎項目審査 .....	5
(3) 加点項目審査（性能評価点の算定） .....	5
3 価格評価点の算定結果 .....	6
4 総合評価 .....	7
5 落札者の決定 .....	7
6 本県の財政負担の削減効果の見込み .....	7

# 第1 事業者選定の経緯等

## 1 事業者選定の経緯

事業者選定までの主な経緯は、以下のとおりである。

・実施方針（案）等の公表	令和元年 9月 5日
・実施方針等の公表	令和元年 10月 18日
・特定事業の選定、公表	令和元年 12月 20日
・入札公告、入札説明書等の公表	令和元年 12月 24日
・入札説明書等に関する説明会の開催	令和元年 12月 26日
・一般競争入札参加資格確認申請書類等の受付締切	令和2年 4月 10日
・入札及び提案に係る書類の受付締切、開札	令和2年 5月 14日
・落札者決定の公表	令和2年 7月 22日

## 2 事業者選定方式

本事業を実施する事業者には、設計、建設及び維持管理の各業務において、効率的かつ効果的なサービスの提供を求めることから、事業者の選定に当たっては、入札参加グループのノウハウや創意工夫を総合的に評価することが必要である。

このため、事業者の選定については、入札価格に加え、山形県（以下「本県」という。）の要求するサービス水準との適合性や、設計、建設及び維持管理に関する能力、事業の継続性・安定性等を総合的に評価して落札者を決定する総合評価一般競争入札方式により行うこととした。

## 3 事業者の選定方法及び手順

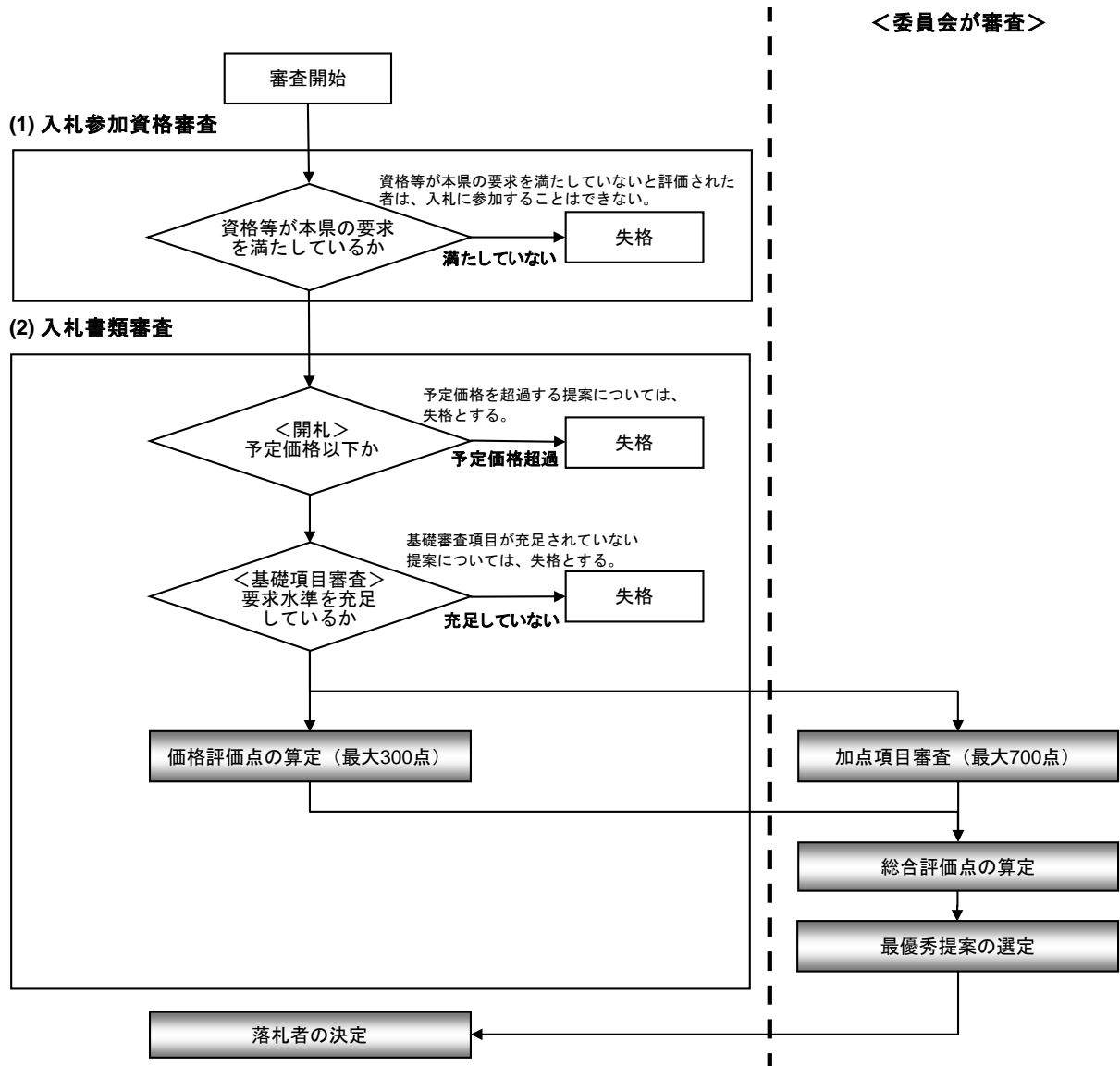
事業者の選定は、入札参加資格審査及び入札書類審査により行った。

入札参加資格審査では、入札参加グループの資格要件について、本県が審査を行った。

入札書類審査では、各業務に関する具体的な提案内容の加点項目審査を行い、性能評価点を算定して、入札価格から算定した価格評価点と合わせた総合評価により最優秀提案の選定を行った。

加点項目審査については、入札参加者名（グループ名、代表企業名、構成企業名及び協力企業名）を一切伏せて行った。

審査手順は、次のとおりとした。



## 第2 事業者選定の体制等

### 1 事業者選定の体制

入札書類審査においては、基礎審査項目の充足の有無の審査を本県が行い、本事業の各業務に関する具体的な提案内容については、本県が設置した学識経験者等で構成する「山形県立寒河江工業高等学校改築整備事業に係る事業者選定審査委員会」（以下「委員会」という。）が、入札参加グループから提出された入札書類（提案書）の加点項目審査を行って最優秀提案を選定した。委員会の審査結果を受けて、本県は落札者を決定した。

### 2 委員会

委員会の構成は、以下のとおりである。

（敬称略）

	所属名	役職名	氏名
委員長	山形大学学術研究院	教授	佐藤 慎也
委員	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター（教職課程）	教授	寒河江 茂
	山形大学人文社会科学部	准教授	坂本 直樹
	山形県教育庁	教育次長	大場 秀樹
	山形県教育庁	教育次長	須貝 英彦 （令和2年3月まで）
	山形県教育庁	教育次長	片桐 寛英 （令和2年3月までは高校教育課長）
	山形県県土整備部建築住宅課営繕室	室長	高橋 光一
	山形県教育庁高校教育課	課長	曾根 伸之 （令和2年4月から）
	山形県立寒河江工業高等学校	校長	高橋 良治

なお、委員会の開催日程及び主な議事内容は、以下のとおりである。

	日程	主な議事内容
第1回	令和元年9月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>落札者決定基準（案）の審議</li> <li>提案書の審査方法の審議</li> </ul>
第2回	令和元年10月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>落札者決定基準（案）の審議</li> <li>提案書の審査方法の審議</li> </ul>
第3回	令和2年6月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案内容の審議</li> <li>入札参加グループへの事前質問事項の整理</li> </ul>
第4回	令和2年7月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加グループからのヒアリング</li> <li>最終審査</li> <li>価格評価点の報告及び最優秀提案の選定</li> </ul>

### 第3 審査結果

#### 1 入札参加資格審査

入札参加資格審査においては、以下のグループから一般競争入札参加資格確認申請書類等の提出があり、グループを構成する各企業が入札説明書に示した参加資格要件を満たしているかどうかを審査した。審査の結果、全ての企業が参加資格要件を満たしていることを確認した。

グループの構成
市村工務店グループ（入札参加者名を伏せて審査するための呼称：29 グループ） 代表企業：株式会社市村工務店 構成企業：株式会社千歳建設 渋谷建設株式会社 株式会社東照電気 黒澤建設工業株式会社 株式会社鈴木建築設計事務所 株式会社セロン東北
升川建設グループ（入札参加者名を伏せて審査するための呼称：61 グループ） 代表企業：升川建設株式会社 構成企業：株式会社羽田設計事務所 株式会社高木 東北電化工業株式会社 弘栄設備工業株式会社 株式会社山形ビルサービス 協力企業：布施建設株式会社 株式会社シェルター 株式会社タレイシ 株式会社メコム 株式会社Y C C 情報システム

#### 2 入札書類審査

##### (1) 開札

入札参加グループより提出のあった入札書の開札を行った。

開札の結果、全ての入札参加グループの入札価格（消費税及び地方消費税を除く。）が予定価格（4,959,810,000 円）以下であり、かつ、入札価格に消費税及び地方消費税に相当する金額を加算した金額が、契約額の上限（5,443,463,900 円）以下であることを確認した。

## (2) 基礎項目審査

入札参加グループの提案内容が、落札者決定基準「別紙1 基礎項目審査の評価基準」に掲げる基礎審査項目を充足しているかについて本県が審査を行った。

この結果、全ての入札参加グループについて、基礎審査項目を充足していることを確認した。

## (3) 加点項目審査（性能評価点の算定）

### ① 審査方法

基礎項目審査で適格とされた入札参加グループの提案について、委員会において性能評価として加点項目審査を行った。加点項目審査は、入札参加グループの提案内容に関して、以下に示す加点審査項目について採点基準に応じて得点（加点）を付与した。

#### 【加点審査項目】

加点審査項目	配点	備考
ア 事業計画全般に関する事項	60	700点の8.6%
イ 設計業務に関する事項	330	〃 47.1%
ウ 建設・工事監理業務に関する事項	105	〃 15.0%
エ 維持管理業務に関する事項	100	〃 14.3%
オ 入札参加者独自の提案に関する事項	105	〃 15.0%
合計	700	

#### 【採点基準】

評価	評価内容	採点基準
A	各審査項目に関して特に優れている	配点×1.00
B	各審査項目に関してより優れている	配点×0.75
C	各審査項目に関して優れている	配点×0.50
D	各審査項目に関して優れている点はあまりない	配点×0.25
E	各審査項目に関して優れている点はない (要求水準書と同等の提案内容である)	配点×0.00 (加点なし)



## ② 加点項目審査（性能評価点算定）の結果

前項の審査方法に基づく加点項目審査（性能評価点算定）の結果を以下に示す。

加点審査項目	29 グループ	61 グループ
ア 事業計画全般に関する事項	16.68 点	26.20 点
イ 設計業務に関する事項	91.28 点	147.52 点
ウ 建設・工事監理業務に関する事項	38.75 点	42.52 点
エ 維持管理業務に関する事項	27.51 点	35.32 点
オ 入札参加者独自の提案に関する事項	50.16 点	58.59 点
合 計	224.38 点	310.15 点

※ 落札者決定基準に基づき、性能評価点は小数点以下第3位を四捨五入した。

## 3 価格評価点の算定結果

価格評価点については、入札書に記載された入札価格をもとに次式で算定した。価格評価点の計算に当たっては、小数点以下第3位を四捨五入し、価格評価点の上限を300点とした。

価格評価点の算定結果を以下に示す。

### 【算定式】

$$\text{価格評価点} = \text{最も低い入札価格} / \text{当該入札参加者の提示する入札価格} \times 300 \text{ 点}$$

項 目	各グループの得点	
	29 グループ	61 グループ
入札価格	4,658,627,870 円	4,957,514,551 円
価格評価点	300.00 点	281.91 点

(入札価格は、消費税及び地方消費税相当額を除く。)

#### 4 総合評価

委員会において性能評価点を決定した後、グループごとに、性能評価点と入札価格から算定した価格評価点を合計した値を総合評価点として算定した。結果は下表のとおりであり、委員会は、総合評価点が最大となった61グループの提案を最優秀提案として選定した。

総合評価点＝性能評価点（加点項目審査：最大700点）＋ 価格評価点（最大300点）

区 分	各グループの得点	
	29 グループ	61 グループ
性能評価点	224.38 点	310.15 点
価格評価点	300.00 点	281.91 点
総合評価点	524.38 点	592.06 点
順位	2 位	1 位

#### 5 落札者の決定

委員会は、以上のように入札参加グループから提出された入札書類の審査等を行い、最優秀提案を選定した。本県は、委員会の審査結果を受けて、61グループ（升川建設グループ）を落札者として決定した。

#### 6 本県の財政負担の削減効果の見込み

落札者の入札価格に基づき、本事業をPFI事業として実施する場合の本県の財政負担見込額を算定した。その結果、現在価値換算額により比較すると、次表に示すとおり、本県が自ら実施する場合と比較して約195百万円（約4.6%）の財政負担額の削減が見込まれることとなった。

区 分	本県が自ら実施する場合	PFI事業として実施する場合
財政負担見込額 （現在価値）	4,209 百万円	4,014 百万円
指数	100.0	95.4

※ 金額については、百万円未満を四捨五入している。